

い〜まCrea大治Ⅱ

記入年月日:令和 3年 2月 12日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		基準以上のスペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準より多く配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		外にスロープの設置がある。室内は、段差が少なく、支援に支障は生じていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		目標設定や振り返り時に面談を実施することや、毎月の職員会議で情報共有を行い、改善を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		毎年実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		新型コロナウイルスの影響により外部研修の機会が減っているが、毎月社内研修を実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		年2回半年毎に保護者面談を実施しており、アセスメントも併せて必要に応じて更新している。その上で個別支援計画作成会議を開催し、計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたアセスメントシートを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		約3ヶ月に一度全体で集まり、検討会議を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		日々のミーティングの他に、約3ヶ月に一度全体で集まり、検討会議を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		活動時間に応じて、課題内容を検討している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		1人ひとりの子どもに対して、個別活動と集団活動でそれぞれが必要な課題を見極め、設定をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日ミーティングを実施している。参加できないスタッフについては事前に伝えている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		退勤時間の都合上、その日の内に終わらせられないときもあるが、振り返りを行ったり、引継ぎメモに残す等情報共有を心掛けている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		必要な内容については適正に記録をとっている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングは半年に一度実施している。その際に計画の見直しの必要性を判断している。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		複数組み合わせた活動を実施している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		子どもの状況を理解している担当者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者を通じて年間行事予定などの連絡をいただいている。下校時間については、利用希望表に記入していただき、変更があれば保護者から適切に連絡をいただいている。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	対象者がいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		担当者会議で情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		担当者会議を通じて情報を提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	近隣にセンターがないため助言をいただく機会がない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	放課後児童クラブ等交流する機会を設けられていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		必要に応じて保護者と連絡をとり、保護者からも課題について連絡をいただいている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		定期的な面談を行い、子どもの課題について助言している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約の面談時にお話している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的に面談を行うことで相談できる機会を設けており、必要に応じ、助言を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	父母の会などが無いので、支援できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情があった際にはその日の内に、できる範囲での聞き取りや対策を話し合うようにしている。会社全体でも情報共有し、改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的に「Andante」を発行している。事業所の行事予定等は、毎月希望表を通じ、お伝えしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		写真や名前等掲載の同意書を毎回とるようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		自分の気持ちを表出できるよう子どもに併せて指導している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	事業所行事に地域住民を招待する等できていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		職員への周知はできているが、保護者への周知ができていないものもある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一度、地震水害火事など様々な場面設定で実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内研修で虐待防止の内容を取り入れ、職員だけではなく、全体にフィードバックしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		事業所として指針は決まっているが、対象となる児童がいないため、実施していません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者を通じて情報を得ている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		紙面に確認サインをすることで情報共有に漏れがないようにしている。